

船舶事故等調査報告書

平成24年7月26日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011広第122号	
事故等種類	衝突（岸壁）	
発生日時	平成23年5月4日 15時15分ごろ	
発生場所	山口県徳山下松港第1区平野ふ頭 山口県周南市所在の西ノ島三角点から真方位020° 2,240m付近 (概位 北緯34° 04.1' 東経131° 45.1')	
事故等調査の経過	平成23年7月11日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	ケミカルタンカー とう 東ソ丸、297トン	
船舶番号、船舶所有者等	129535、東央海運株式会社	
乗組員等に関する情報	船長、二級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	船体 船首フェアリーダー凹損 岸壁 なし	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか3人が乗り組み、次亜塩素酸ソーダ約320m³を積載し、徳山下松港第1区の平野ふ頭に右舷着けで着岸作業中、船長の舵操作が遅れ、船首が岸壁に衝突した。</p> <p>本船は、ほぼ満載の状態であった。</p> <p>船長は、満載時の本船の舵効きが悪いと感じていた。</p> <p>本船はそのまま着岸し、船体及び岸壁の損傷状況等を確認したが、航行に影響がなかったため、翌日、岡山県岡山市岡山港へ向かった。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風 なし</p> <p>海象：潮汐 低潮時、海上 平穏</p>	
その他の事項	<p>船長は、平野ふ頭への着岸経験は豊富であった。</p> <p>船長は、綱取り作業員を手配していなかった。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>本船は、徳山下松港第1区の平野ふ頭に着岸作業中、船長が本船の載貨状態を考慮した操舵を適切に行わなかったことから、船首が岸壁に衝突したものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、徳山下松港第1区の平野ふ頭に着岸作業中、船長が本船の載貨状態を考慮した操舵を適切に行わなかったため、船首が岸壁に衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>	
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 船体のコンディションが船体の制御に大きく影響することがあるので、事前に載貨状態などを考慮して機関、操舵を使用する時機を検討すること。 	

